

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年2月26日

【評価実施概要】

事業所番号	1175100740
法人名	社会福祉法人晴智会
事業所名	グループホーム晴和苑
所在地	352-0002 埼玉県新座市東3丁目7番26号 (電話) 048-473-3388

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年2月20日

【情報提供票より】(20年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年1月15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	5人, 非常勤 4人, 常勤換算 7.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 地上3階・地下1階建ての 地上1階 ~ 地上1階部分
------	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	2,600 円	その他の経費(月額)	24,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	150 円
または1日当たり1,200円				

(4) 利用者の概要(1月31日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.1 歳	最低	69 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新座志木中央総合病院、立川歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

駅から徒歩10分の街中に複合施設の晴和苑があり、その一角にグループホームがある。設立4年目を迎え、明るく・楽しく・地域と共に歩むを理念とし、管理者をはじめ職員は「笑顔を忘れず、謙虚に学ぶ」を心に留めて日々の生活に取り組んでいる。利用者は明るく、ホーム内は活気に満ちている。居室にはトイレ、洗面台、ベット、洋服ダンスが設置され、ベランダ側は障子と網戸で外気の通りもよい。ベランダに布団を干し、リネンの交換もこまめになされている。地域のボランティアの協力も多く、利用者の習字や描画、手芸品が展示され、多動的で地域と共に歩む開放的なホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>要改善点は、全体会議で話し合い取り組んでいる。ホームの理念は見やすい場所へ移動し日々確認できるようにした。また、健康診断は家族の協力により定期的に受診し、予防接種も必ず実施するよう改善した。なお、職員研修は本来業務が多忙なため、計画を策定し段階的な職員研修の実施には至っていない。現在は研修報告の機会をつくり、職員間で情報や知識を共有し、力量アップに努めており、ホームの課題として取り組みを継続している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義や目的を職員に伝え、ホーム全体で理解し自己評価に取り組むようにした。なお、前回評価については全体会議で話し合いを持ち、改善点を把握し、一つずつ具体的な改善に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>体制作りがなされている。特に組織の中に利用者の家族の代表者、利用者の代表者の参加があり望ましい方向にある。2ヶ月に1回の実施を位置づけ、ホームの運営、行事内容、地域のつながり等議事録も整理され反省と進歩が図られている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>複合施設全体のお便り「せいわ」、グループホームのお便り「縁助異便り」が配布されるので家族には利用者の様子がわかる。管理者は家族との密なる「きずな」を作ること力を入れている。電話での連絡を細かくしているため、ホームの意向が理解され家族は来所が多く、不安や苦情の解消につながっている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームの玄関前にはコンクリートの広場があり、長椅子や丸テーブル椅子のセットが置かれ地域の人と交流している。自治会への仲間入りもごく自然体で、夏祭りの参加・避難訓練や災害訓練には近所の家庭の協力体制もできており、地域に密着したホームづくりを目指している。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念が目につく所に掲示され、「明るく・楽しく地域の人とふれあって会話のある生活をし、食べて遊んで動ける環境」とある。その人らしさや個々を尊重しており、利用者の明るい表情と挨拶から、つくりあげている理念が十分に伝わってくる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員用トイレのドアの内側に「日々これでよかったかと反省し、それぞれが笑顔を忘れず妥当性普遍性を追求し謙虚に学ぶこと」と書いて貼ってある。これを毎日読むことで、理念の共有と実践に向けての取り組みが伺える。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の人とは積極的に挨拶を交わし、道行く人には声かけをしてお茶に誘ったり、夏祭りに参加したりして交流を深めている。地域のボランティアとの交流も多く、開放されたホームである。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を踏まえて前回の要改善点について話し合い、基本理念の掲示、健康診断の実施等、一つずつ改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を開いている。構成メンバーは行政面ばかりでなく、利用者の代表や家族の代表も加わっている。会議では多角的な角度から意見交換がなされ、議事録が運営に活かされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ほとんど電話連絡ではあるが、運営推進会議へ市担当職員も出席しているので、行政との連携はとれている。事業所側と市町村がお互い足を運びあえる機会を増やせるよう検討している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の様子ができるように、「せいわ」「緑助異便り」のホームだよりを発行している。さらに「職員と家族の交換日記」でも、こまめに連絡を取り合っており、このノートにより家族と利用者の関係が修復された例もある。金銭管理も毎月してあり、サインをもらっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話連絡をこまめにしているので、施設の意向が理解され、家族の来所回数が増えている。家族の意見や要望は誠意を持って受け止め反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職は多少あるが、職員が新しく入った際は紹介と共に、一日も早く馴染めるように細かい気配りをしている。広報でも知らせた家族にもわかってもらえるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	できる限り研修に参加しているが、業務の時間に余裕のないのが現状である。研修への参加は可能な限り援助したい意向であり、計画性を持って段階的な研修機会を設けるようにしたい。		他の事業所と共に情報を交換しながら、外部への研修ができるような体制作りをすることが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者に働きかけているが、お互いに時間が合わず、交流活動は、今後の課題となっている。		県内組織のネットワークに参入して、事業者同士協働しながら力量アップに取り組んで行くことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設のサービスを利用している場合は、本人の情報を収集して混乱なく利用できるように取りはからっている。在宅の場合も利用者家族に見学に来てもらい、施設の雰囲気を十分知って利用者・家族双方が安心して馴染めるように対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から教えたり、教えてもらったりする学ぶ姿勢で生活を送り、利用者と共に過ごす時間をできるだけ多く持って、共存し合う関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いを大切にしている。例えば、大正琴をひく、新聞を読む、ぬいぐるみを集める、毛糸であみ物をする等々、できるだけ本人の気持ちに添えるようにし、利用者の希望や意向を汲み取りながら支援をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一日一回のミニカンファレンスを行って利用者の現状を把握し、家族、利用者、職員で話し合い介護計画を作成している。パソコンで効率的に処理しており、利用者本位の計画がなされている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しとしているが、利用者の状態に変化がある時や、夜勤者、職員の申し送りノートの提案も参考に、その現状から家族・利用者とも話し合い見直しの計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族旅行、法事、墓参などの申し出には、外部のヘルパーに依頼したり、他との調整をはかって、本人や家族の状況や要望に応じて柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、協力医療機関の総合病院に主治医を定めている。受診や健康診断の付き添いを家族に依頼し、定期的に受診をしてもらっているため、アクセスを考慮した上で主治医を決めている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に、このホームが終の住み家ではないことを話し合っているため、家族には懸念すべきことを説明してあり重度期の考えは共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員と利用者には隔たりがなく和やかで明るく生活している。利用者にとって都合の悪いことには、傷つけることのないよう対応している。記録にはイニシャルで表記し、部外者に情報がわからないようにしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の回数、時間、買物等、できるだけ利用者本人のペースを大切にして支援するよう心がけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設の特養から調理されたものが配られるが、一品だけはホームのキッチンで作ることになっている。また、利用者も一緒になって配膳、下膳、盛りつけを行っている。一つのテーブルに一人職員が入り、お話をしながら明るく楽しい食事になるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、風呂をわかして一日に3人位が入浴できるように声がけしている。中には、ふたりで仲良く入るなどして入浴を楽しむ利用者もいる。職員は、時々利用者に声がけて安全を確認している。また、夜間入浴にも対応しており、今後も無理のない範囲で提供していく予定である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ボランティアの協力があり、歌や創作活動(折り紙・習字・描画)で変化のある生活ができる。玄関前の広場では、テーブルや椅子が置かれており、地域の人との交流もできる、など気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望を聞いて好きな物を外食したり、家族が利用者と共に外出するなど、戸外へ出かけられるよう支援をしている。また、年に一度は家族参加の日帰り旅行を企画している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間を除いて玄関や居室の入り口には鍵をかけないで支援している。また、利用者の出入りは、ドアに取り付けた鈴でわかるようにしている。利用者は、玄関前の広場にある憩いのスペースを活用して、草花やつばめの巣を見て楽しみながら生活を送っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年間2回消防署と連携して避難訓練を実施している。また、緊急連絡網があり職員に意識づけしている。特に夜間には地域の援助も受け入れてもらえるよう対策ができています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の厨房の栄養士による献立によりバランスよく食事をしている。また、利用者一人ひとりの食事や水分の摂取量は、パソコンで管理し把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペース、居室には障子が入り和室の雰囲気が出ている。一部共有スペースの天井には青空を思わせる壁紙が貼ってあり快適な空間となっている。個々の作品が展示され、小物の洗濯物が干せる工夫があり、明るく家庭的で居心地のよい生活感がある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はベット・クローゼット・トイレ・洗面台が設置されている。使いなれた家具が持ち込まれて家族と共にその人らしい雰囲気を作りあげている。		